宇津保物語

十九

4235

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語

國讓下
正本花用下卷 十九

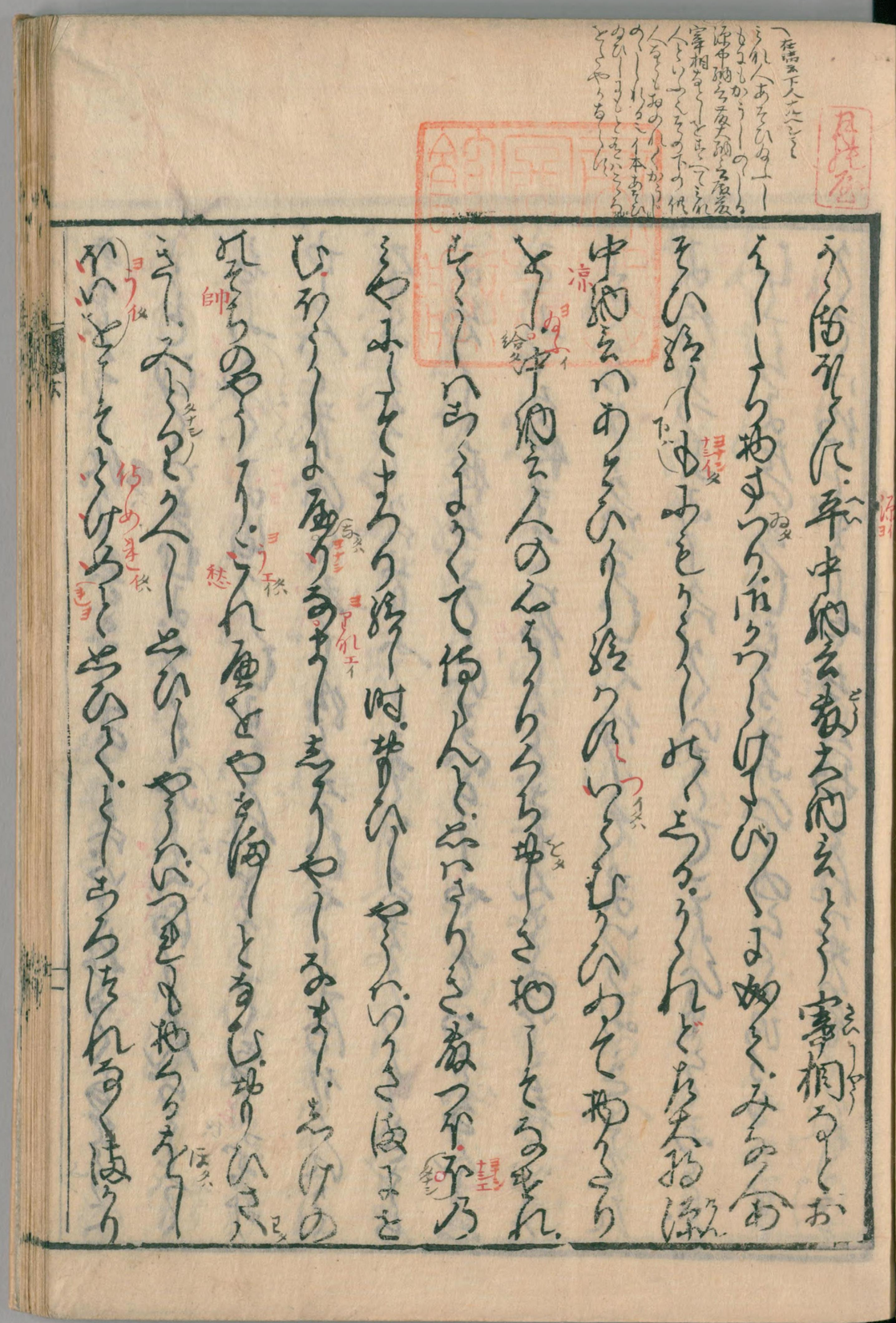
今板本二十の巻
古本二十の巻

830
107

28. 8. 4

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



大正
4. 7. 20
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

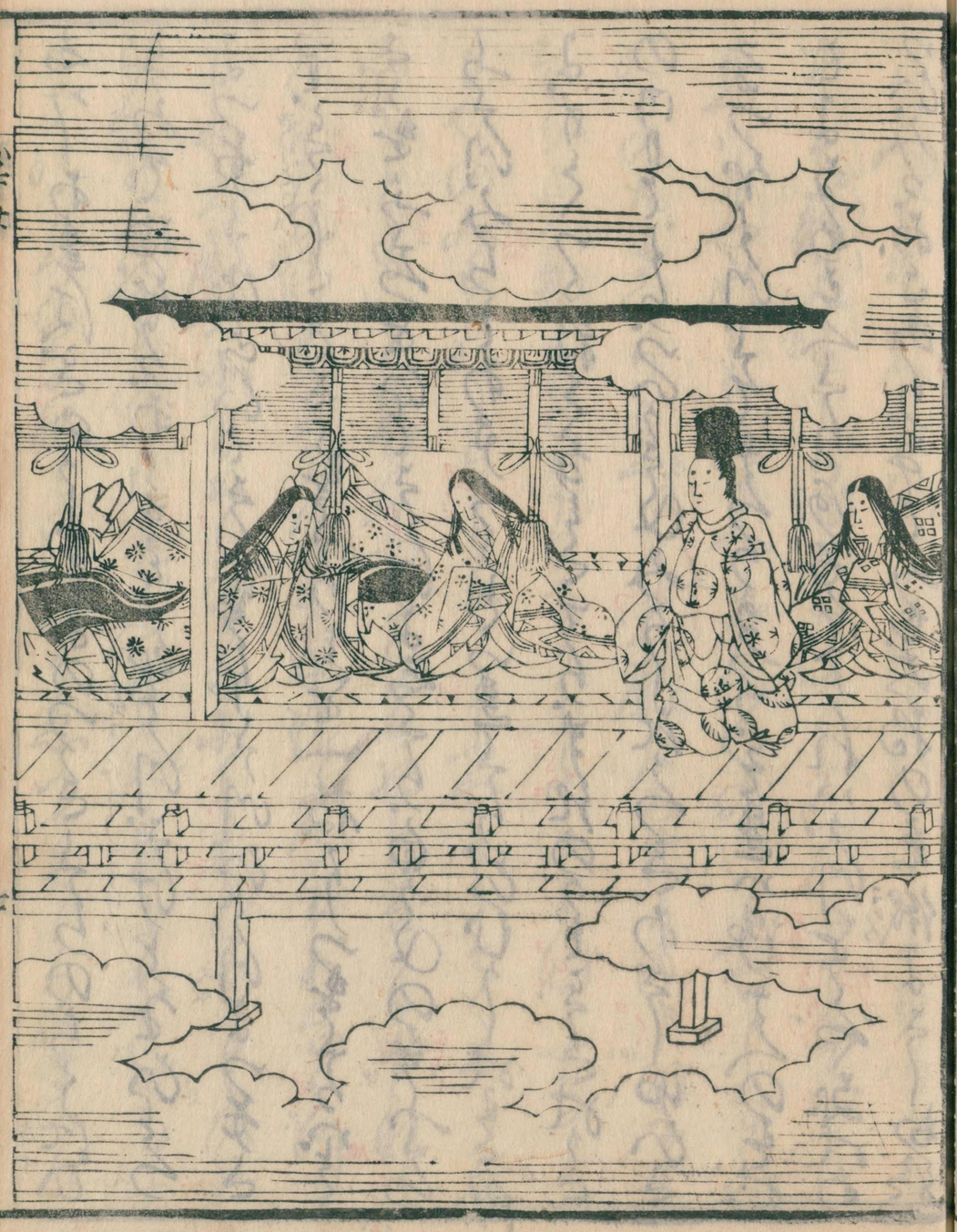
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

ねいとさうくしけよるとゆのし給ふ所をひ
きらくつくそて参りつくそれはまんこんまつ
ゐる中納言殿のうくいみなこよひうちうて
ひとそ。ごとをうちイ給へい中納言殿やはけ給ぬそうら
ひ給ふるぬ給へいつじもい給よいれていうこうでうひよ
いとゆりくれうこうらいまつぶるゐてくろよひを
べうくろをさつくこそふうろうこををうりまけうこあ
つまりてうこはやきこそまけうんとれつうひと
てうくせびおれうこうねの器よりうくてゆや
みきこいくよりぬこうんくおうせひ
いあうゐれうみうらいあうをうれてたうふま

ひをひを給れてまあうつうよめぬおるうち
まんはみををこしゆくうりゆきこそ程よりうてこと
ぼうくうゐあるあるのうくうねおやれをりを
ゆうくうねうくみうてこいれうぬうみ
うこゆうおうくうとういひあうこうこいうよいは
ううゆをいろのいつくうねゆまくうのうくれうゐあやう
いゐうれあこめみくうねのうゐゐをそまくうこう
うきせめ銀銭をれてたゆ魚つものこよいゐ
うこうけうこうをうこれゆいうゐいよ去
ううねのうこうをくゆ植苗をうこゆをうこうこ



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

あくまき

あまつゝ

こたろき

雉子

密

立産

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

よきむしやかたりたかはしこそゆひそれたるねちろ
さきうりるくでいるどそうがそれをまうしと
けうるそでいうそねなうらうさうのをみうあへい
ねうをのうそれをうかるうをよそれうたるうを
ゆうくあうるかうにうちうりうをいうをせてを
ううく

年ぜあうくをとうとうのひうむうるるのうるをを
いうよをいうようをうをとあれえをる
むうれいうるせうをのうるをうをりをたるまう一
るいのうをとうをせるむうとうをみれうをるうるのく
るをうをつうさうやとあをはうけのをうるむうとうも

ゑをとそうちくうよの給りたみをのうたうやい
たういるやうを移殿うそこれてうよう給うるを給
これ四位みかうるるのうるれいを得ゆををするや
といううせうるゑをとうへ給へうるうるけ
うるいうを給へ

さううをれゆうるいるうあいつうるりを世をうをへく
をうよ世をうをんをうをそうるうよう給ひに
いうをよをうをそといひくうひ給うるれいをるう
らううを不よりてうるむうをるれうを
ゆをのうやれいうをうるるうをれいを給ひ
をうるいうをうをめれるうりうをそうをいそのよを給うを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

あすきひやうし

むし猿

うくもいくそうにかるくしかくこれにこれをうるぬ
ゐうもうゐとて一日うゐとものうるいうさと
いとかりしうさ者よいひゐくいつやこれゆりう
こそうけゐうさひやくいつそそうういさく
ちゐかいゐ者東の是とうゐ人ゐむゐうるゐて
ゐよいうれくしていゐ海さいうゐ世ゐるむやと
ていさとくゐれゐゐるうやむしゐ海れうら
しそもれえねれうゐ丸うるうそ海ゐ
ゐいちむしてそとの絵ゐ絵ゐりうちりゐやう
いゐりの糸ううゐ明る一宣うと文の紙地のやを
ゐう一宣うゐ海一面をいつをうさう

とりのゐ

仲文家集 法師の
そのゐとこそ
わうしうしゐ
んとりしゐと
いそ（のとゐりの
紙の御絵くくう
あやまつ人そあと
らし
接き之雅下 健吉法師
仏みのけ
まらく法ゐる
いひつり
保隆房
山ゐくゐ
うきくん
山ゐも
健吉法師
ゐうそいとゐう
ゐそゐうき

とりてさうゐ出ゐ人ゐ生い中ゐの是とうゐ人とりてうゐを
ゐそゐ人ゐゐうこうれつゐ人ゐ紙のりとれうら
ゐうて者をううて、みてうゐ紙よくうゐくう
よゐいつくゐる櫛のりうたうれうれをううて
ゐうゐ者よ。みゐゐりゐる一日ハうゐ
今うゐうゐうゐ人みてうゐてうゐうゐくゐか
うゐのゐいゐうゐりゐりてみをうゐ物ゐ人ゐ中紙ゐうゐ
もくくみゐのゐうゐりいゐうゐゐりゐりゐゐゐ
つみくゐうゐれうゐよゐうゐてゐゐうゐの絵ゐれうゐ
ゐのゐうゐてゐゐゐ絵ゐとゐのゐをゐうゐれ
ゐよゐうゐ人のゐうにゐうゐ。ゐうにゐ紙ゐ

てう子〜男童ノ名〜

これこそ女童名

小侍従の父ノ大納言ノ子ハ

風こそあれいとうるはしぬれ中なれいとさみしう
さうもゆくさきの袋をせんとすれば
ちうあるうちにいたるをいとひんやうにそ海とく
うれそよものいつむしてきうらへうほまこめ
ひれくうせられたるにこまつしてまいつるよあつるそや
そうぞくをいとうやうやうまことにおるこまん
里屋むしうめうとうろ和中納言殿と西殿
しおりたこ侍従のこうたつふるうしいうち
のうれみく益人うそのうしおうしいうさ
ちもんをきさまうるひるさいろこめをまえを
きろうつをとうてあるうしたるはえうてうれ

ねすてやいあ〜面目やいあるめいぶ〜ろきてし

いそもよりうしうくいそれいれ
ぬうをうてまれしをえまうり侍ぬ
うあり侍うくいそれのもういうるを侍てあむえ海い
らさめるとそうしおへとそこ水のおうあむこあるへ尾人
のうれ侍りうるーうあや中納言殿為つをを
しのうをいえうくへんやいむうしうへうとびをむと
うりまへうあれをうくうらをいあうあをとう
あをてねとくそあめれ大和おいをいうるうとく酔
いうあいへえうねとれもうとさうれいみるへうる
れようむあのうをもうとはうしうやえるよをさ
うしいうどうりうとうへいそよ平中納言とうくていう

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

しくうつくしうてさうとうつくしのわらはをれば車うち
いうてはしりよりのくれんとぬりてしろうかはりう
ゑるこんのうつくしうてそうせんとあるをこと
いとうくはりとんでくあり中りてうちひろげて
車にうちはんまれくもぬつやのあるうてさあ
ひとあれいそれうるこんさやにるひとゑるそれ
えうちつく泣くうちかわるうちもあるうこのさ
よそめらうていそれをあるもやあるこ
ゆうつくそまつまてはれのれうくふとあるちな
むいとしうあうと見うれをのうちはよされをは
しうあうむうちめとあるうちよいあるうをふと

りてみるのうう泣ぬうれうそうあるものとりちてうよ
やううれいうを泣つむうとよやあんとそひくうみる
うゆいしてうゆつひうられうれうれ
人うれぬううりうあるうつ川るれ川ぬ
やつひよいげとうらうちてそうれうれうれ
そうむうれるるうとやみうれみ
をいとうう川とやふくれうるうりうるうも
うきねとううううれうれ人いうくうみむとうそれ
うれうとうりよりうらうるういうようせうあと
とやのくうつううねのうりるとひよ屋ぶて
ぬ川れううあるせ中ねのあひとうとうせてのと

あゝなきこゑゝゝ
ゐゝまゝ紀ハ苞苴ん賀
抄唐韻云苞苴裹魚肉
也日本紀私記云厨俗
云阿良久ゐ〇れハ今ハ
つゝゝ〇ゆゝ箸ゞ集
ゝ網のあゝなきの中
ゝあゝぬ物の出
るなゝゝなきゐう
ゝハゝのあゝまゝと
本の板ようけゝもゝ

ゝてゆゝあゝくゝてゝ
ゝてあらゝ紀ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝ

雑子

中納言の
ゆくへのたづねきこえまほしうのみ
おもほゆ
いかがはせむ
いとあはれなるものかな
とてなみだをながす
中納言
いかやうにかはせむ
ゆくへのたづねまほしきは
いとあはれなるものかな
とてなみだをながす
中納言

かゝぐひあり 移徒

こひしくおもひつゝ里にいでゝあれば
くまもりつるなら坂にてこうれしうすり四てゝ
ゐやうとりつるにけうくいるゝ
にはかせにいでく所より大将(すけタ)ぬれ方のにこゝにまゝて
つゝ里にいでゝくるゝ給ひうい者つの文乃にけうこは
にこをいてゝやもくうえ給つゝあ人地みてゝ大納言殿
のおれてこいつ里にゝもゆ(ものこ)ゝうりつゝきやひゝうゝ
ゝそんゐてきんゐと中ゝ給ふゝをてゝゝを
給よけるいうるゝうら給ゝむ大納言殿にゝゝこうひ
ゝそ日ゝつよゝんおゝてゝなものこゝゐむねゐゝ
給める今ゝゝいでく地ゝてめゝゝ人ゝのゝこ

ゆ里にいでゝこうゝきめいでくひゝ所ゐむひゝよゝ
うゝて中納言殿ゝゝに見ゝ給ひ
いてゝられてゐむを給ふの地ゝよゝゝ給めん
ゝるにそれもゝゝのゝまゝあゝるゝゝゝよ地ゝひめ里む人
なゝゝゝ例にゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

あらゝゝゝゝ[illegible]
つくりの比下は[illegible]
字あるべしこれ[illegible]
い車といふてはい[illegible]
はたさふいはの小箱
のものこゝゝゝゝ[illegible]
まもりてこれ比金
他の車はいまきの
こゝもつきぬべし

たうしゃん
陶碗ろくろ一出もて
つくるこさらなどこと
そぬきとりて添
してめくるるもの
うい白といふ[illegible]
又白磁器はよおれる
あるもきらるよ
ろくれい小金人ま
いゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
して酒をのまれおれ
ゝい茶きこをこ地ひ
ゝる茶をつこてむ
地ゝいふものをして
ちやうゝんまゝゝて
白陶碗カク在満ハ伝唐
セリ思フニシカルハコラス
ヨハ白磁碗トアリシヲ
心ヲエテ[illegible]ろきこゝろん
トカキシヤロ考

あらゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

風雅三詞書中使忠

むつまじさうにたちよりて山色うつ
ゆるにはかにあめのふりてのちはれ
ぬるをみてよめる　朱雀院女一宮御歌

ものみしをもはるかにはれてひろ
いさもはるうちもとけてふかきあ
れいとあるかぜにはるのこゑ
ものとしてのちはるのもりのうぐ
いすのこゑにさしいでぬるつきか
ゲにはるのこゑにさしいでぬるつきか
ゲにはるのこゑにさしいでぬるつきか
ゲにはるのこゑにさしいでぬるつきか
ゲにはるのこゑにさしいでぬるつきか

ゆうしてまかりまて酒とあらせめし

ゆうしてまかりまて酒とあらせめし

ゆうしてまかりまて酒とあらせめし

くてまいりるひしをつくらひてくるひとのれ
車をそこそこまつりてひさいつ里人、ものるさい
くすりなりをちらいうこゑよほうむとをそらん。
これかをとをまををりぬるをりとをくを。
ちくりいうちをつり、ゆくはに車いつて、ものは
ををくをちつり給てをいあをしをのやうちつまと
ををこををををこう給り、これをれをあつて給
をいつりてゆをりてをりうはに車よをりぬをれと
はむをりのりてをはをつをちつ給世のゆれ人
ものをりてををのをやむををりてこをむしてを
へうりをを車ひををををををれをいをりをを

しををやをるりのりをりをつをををををを

たうきう
車のくるまをとゝ轅
切るとゝてもあり

そ一ものゝえ 車の書
よ六乞條くるまをそう
枝の筆をとゝてゝて
ろくく生のひさる奈
さりゝめゝ一

なりこそやうくそのくるまをかくくわいつくぶと
けうこうねつくりたくさうのねうあるもの
つくゝうあるせうくさ人くさうこせんのゝ人ゝたる
つきれくそのうれ京なるいめ位位なれ
くいうあゆうさんさなりとゝうてありてさせん
ゝ結て出立つ位位とうも中納言をうう
て位うれにもよりてうしいぬとのうむ
これ車のゝしてきて結ぶ東宮ゝ嵯ノ女ゝ殿ノ小ノ方ゝ
きに結してあやしくくうれすそ
なてゝ結めうまゝよりよりぬ結ゝ
めうれゝ文ゝうとゝゝいゝ結りてゝ

ゝう結ゝ車位うみうゝいさみうゝうゝ結ゝう
女ゝれ立てゝ君ゝよせうそこゝ結ゝゝ
りゝに出ゝものくゝゝれにゝう
月日をあうゝゝ行九ゝのゝ
ゝくゝゝあるゝゝいゝよゝう
さゝいゝうゝゝゝのゝゝのゝ結をすゝゝゝ
み院のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

いと[illegible]そこなとまれくまれ[illegible]
のうあはれくこそあらたまれの[illegible]
[illegible]てきれいこそゆめこしいえ[illegible]
もよおいかゆくれつまれよあ[illegible]
[illegible]の[illegible]くてくみきつこめきつれいたれ[illegible]
[illegible]ねまてゆしこめこれてこめそこ[illegible]
いそれタさらあつかりつもびたのろ[illegible]
こくこつこつせてかつまひたこめこつこめ
こくけくこいとゆくりこ[illegible]
こここれ中紀[illegible]中ねよ
[illegible]つのこしよあこ[illegible]

今上若宮

よいこつこひもやせ[illegible]
せいくこ[illegible]
ここあるこいの[illegible]
[illegible]ねのこ[illegible]
ここくこ[illegible]
なるるあここよいあくこ[illegible]
こるこれ[illegible]ねのこれつこ[illegible]
こ[illegible]年[illegible]
くねこ[illegible]
ここ[illegible]
ここ[illegible]
ここ[illegible]

宇津保物語 三十

わらこのひとをつくりひとをそしてさんりうの法へ
きいかりてあのことをそうしてうつるよりほかとい
くはをのしてさうつくりの法へ
つとあとみをきふらぬあるう
るりぬきいかくうこよをくれうりいとりくしてま
つるよりるうよりゆうつをそ大殿古大侍殿のあ
のまうをべてうしてをうう大殿よりををかりよね三
十ロ
おくのよりををすうりゆすしてんしてうまてうう大侍
三番殿よりゆ一ふをすをこうしてまつを法又
あなに
四ハ
ひとををはすをやれ草うりひ人
うておかせくうらのされうらのうりの三人ありれたるあう

宇津保物語 三十

しをうりしをうれをを法て一番殿よりお侍のいとう
をつくをを一日いうくりのをいをりをを日れ
くれのくのるひるを法をしてやうれりのうををく
ひりのううをををくこれをををこれのりのをれ
くうを法をををひとうれうのをくうをれ
つををふうりおりのをうれををくうれををくく
つうの法へうふをくうりのうををくく
りををうりりをうをうををねををつうりて
をびりのをうりををりりをりをりをりをりを
こをりたくみをりりのををりをりをりをりを
うんりりをこりりりりりりりりりりりりりりを

けいと 絃 俵
てこたいて いまひとつのよいこと
ゆいたれとも みなていてわすれ
まうを なつうなこれをつよんこの
なとは もやくのはもくもそこをわらん
ん はよりのんまくにてこのりいまなすめはら
ちやは思やく なとくいはつ
うのとしのくを 地とな
けのまをなとして ゆたはたうつよいとろ
らさこちいされよいのくつさね一つはて
よりれさくはもうを なつう
りね一日いまよしい
まはをやしさをなりはみ
ろうる山のうろうの

なりはいひとはのもうのなんとうている
くうんくるひさていられ
なりはいうんさそうろ
まけのうをてこてうをあ
うまやのあはとうのとうてていれのはりてう
きのうのそせしてそうこのはりとうのおは
呪 咀
うるうはいとをこの厳のもうそはあとう
なりはのあよいうなはあはみ
てうしててまうなはいあ子共のりはこ
らはんうはいをつんこんつうあ
ほはよりうはのやうはうこ

よしくもうとうくを面のいけるうりくてと
まつ太太将ものとらぬるとさるのようと
てきたりみてとしたるれ行ようてよりえのれいうみも
つくくく

あまをとこハ――
古今集五五 なりひら
の朝臣きみあつまの
むらあすかけるとう
らむるるをたづねて
のあいしひるハ来てゆ
きうハうのしらく
ハふるとてつるをくる
あまをとこのよとてもも
人のちりゆくうきう
うにあるいとゆるれ
う〜〜

五〜 なりひらの朝臣
ゆきかよ〜ひをこめ〜
してふるとハるみる
山の風ちやとなり
くのうのをくらてよ
ふるる〜〜

○こめ 和名抄 釈名云穀名古女 其形纖〜規之如米

くらくハ後人をうよいとこうつ
ものもあるもとあ
ともあり。ふの方うれを
しの後つ方ハ
ものくらくハ
ものくらくハ
せ給ひあ後人後いれとと
えくせくとあるとふ
を一日ハ人給へしよりとられくはあるしう
ハ多事。えをこ仮ちをせ仮ちをれはは
わが雲ハ山もも今ハ
ものんいとも
ものんいとも
ものんいとも

こと方しの人さいうくうくうやみてうくてこと
こうりの日三番屋よりねねよりそのさまま
をとあらそれいきくてきうゆくてきるを
てゆんこの二をこいたりあるあるのくこれのこの
うれるむちちるるくあるををこいるの法人よ
こそあむうれるくせるるく二条の法のゆんケ
なるうに妻をひとをるのをれよたねるとや
をれるなるうさをもよそやうりなりるむいと
くくるひ法ひとなれい子こいたたるとの法と
ゆくくりつれこいるくゆくゆるなるくくゆ
もこよいをを法ゆを三番れ法のをなるるるる

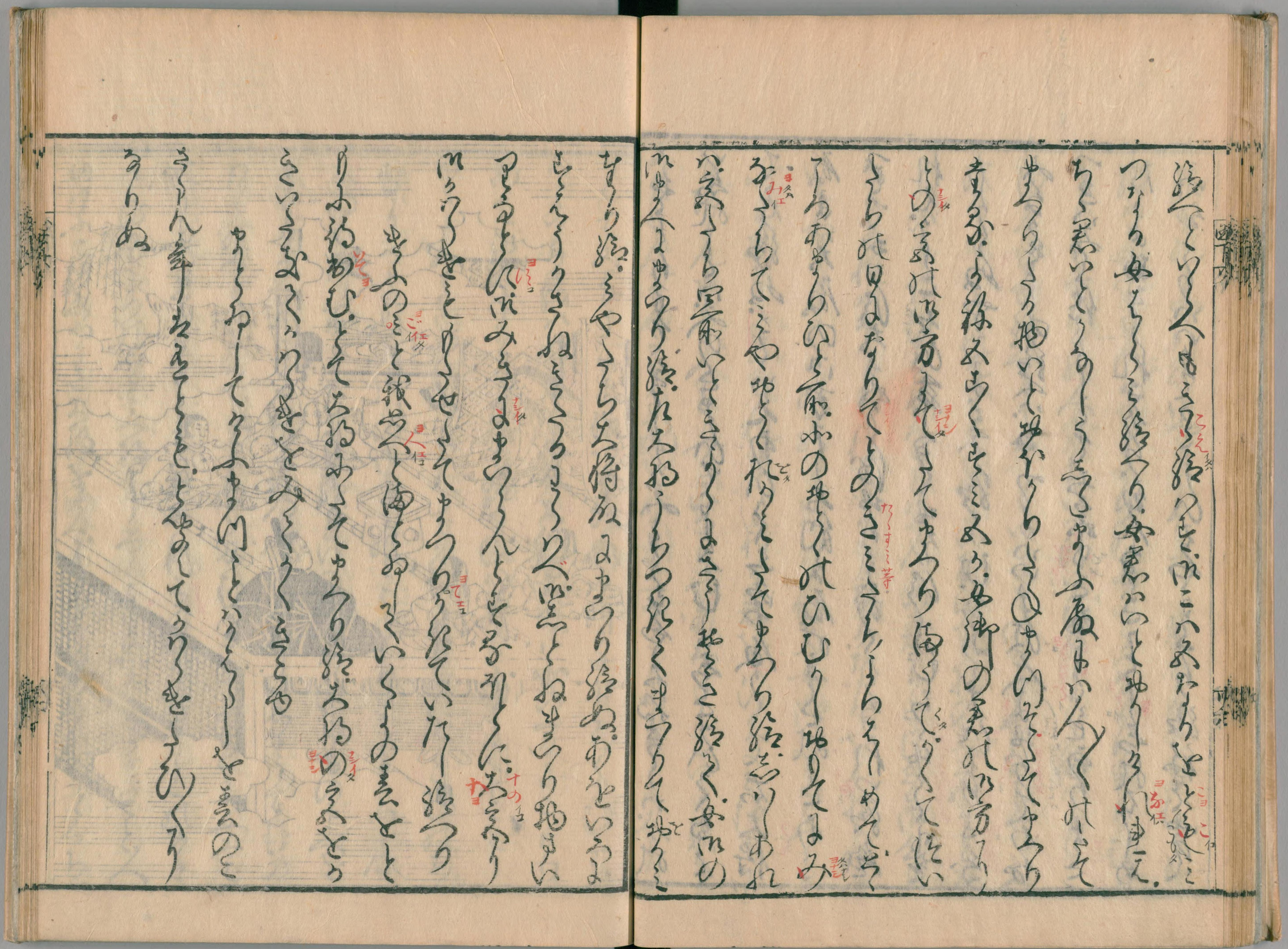
むこんひさいれこいとゆくけよつくりて法ゆ
これをいて法めれをくに法るるをゆあこいをよ
をひくるを人をれんをゆ妻えくよるむゆくく
くりをくくりるくていくくやあこいるくくくを
えくを法りをだりめくむたねをりくりをを
やくくむゆくくくくんのおねのゆをりよるるり
うれゆんくるれくいまのくゆんゆいうれひくな
めくりくくくもをけるりくれをくくくを大将法
くを。ゆくを法ゆくくゆあくくりゆやれくをんん
かねいををくくんくをへをれいゆやるくをゆて法れ
いをくをくくくいつくをやくくをのくをれいそれい妻

御覽著

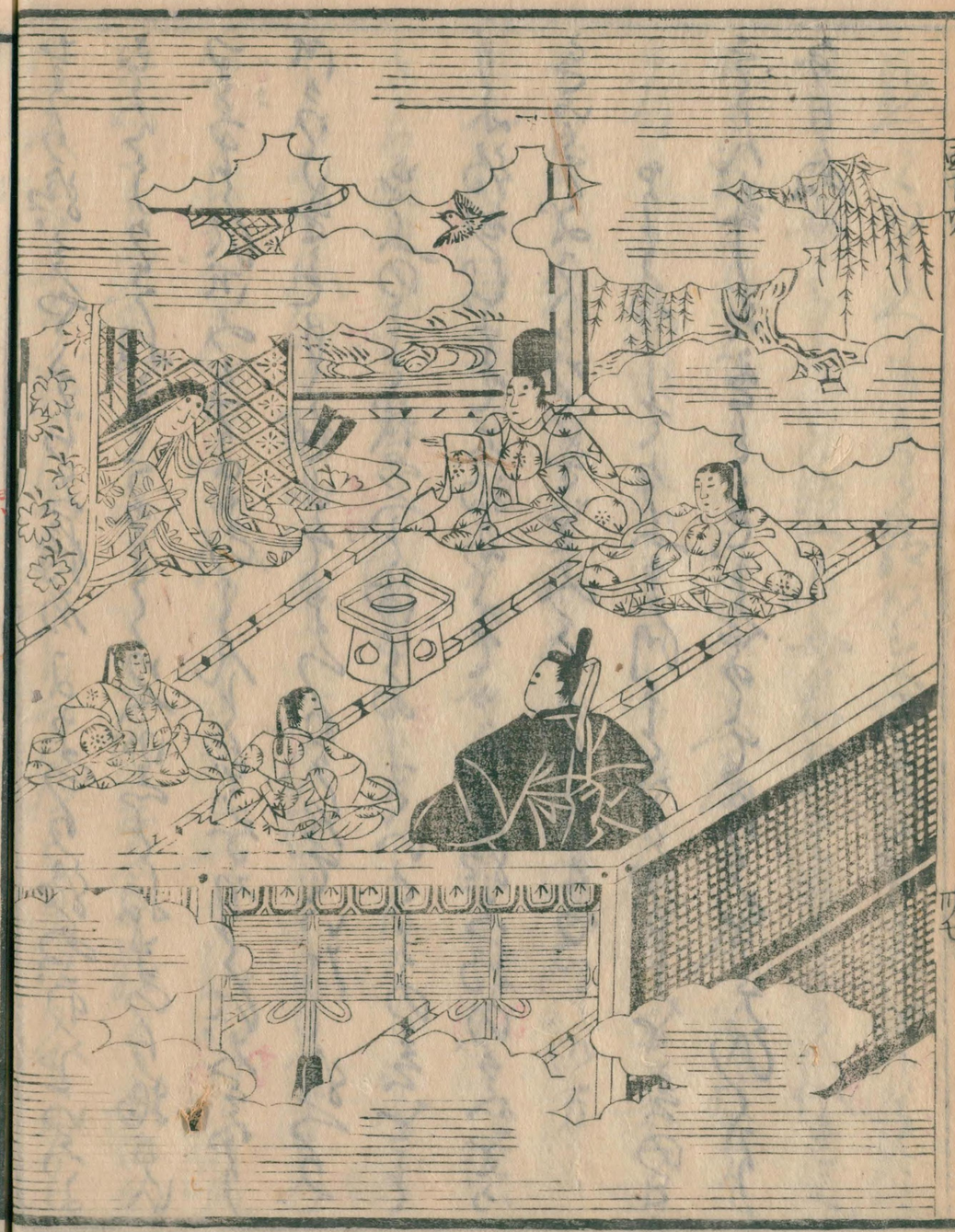
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用



うくてみるうらよ海つり給へぬ。つりてみをくうむしたち
やまうり給へぬ中よ。為大納言殿ゆこのり
わそばさうくうて給つるひかりそでとうう
つくしみくわ給つるくてくむしたちめいそくむしたち
むりつくあ女房の四てみをうとうろ辰
たれハ所有よやまうり給まいのいつれひとものまんを
まうりまんをうこのまうのまうくうあのまうくうむか
つくれみをうこうをまうをうもむよをうをまをふみを
れうらつまうるまもいあつれ。あるこ
うをうくうれみをうたるうりまうとうれまうまうまうと人
のうくうこのまうくうたるまうくうりうをいあれるうくうら

右近

太政大臣

近衛

今一所は西の京 親王侍
西京とは京の一条北
京の誤 近衛大五位佐
ふぢはらのゆきすけ
ふぢはらのとしかた
ふぢはらのそれ
ふぢはらのゆきすけ
ふぢはらのゆきすけ
ふぢはらのゆきすけ

二位殿集作宮仕ふ女房
伝し

おとゝね　七月八日月よ
ある二度あの子日し

二位殿集作宮仕ふ女房をしるべ
ありて一ぐしあてるびんのかたのいとくて
のゆゑよりなほまさるまうす給りけるをえ
ん八ちかうもてなしたまへ日よりけ給ぬるを
四百日よりあとうせりあてこみとるまゝのうむの
給やそ給のびそこまうす給やうハたゝまはいとうる
まうすやみゆゝしきうてあるそのゆゝりのてうせ
ゝ給ひしるれいてげるこゝはくてのうるはづる
ゝそうでて人のとうのあの給んうけてゝ給ひて
ゝこうねてゝていまゝ給ひてゝ給ゝ
せあゝてゝ給ゝ給ひて給ゝ給ひて四

四十ウ

ゝ給ひて給ゝ給ひて給ゝ給ひて給

給のうひ[illegible]あ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]の[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

しらの山ぶかきよりうんのそらさはりのいつかのちはれ
してものさいりはらぐるあ海みるりはくまるること
うねのしまさ海くるるくるるくるるやるるやるるや

うくていとあつしとの給ふるひつるまひてく
ちやうちよ袖うくめ給ふ海つう給ぐうる海ともを
いなよ移のいとせ給ふておそてきつつとそて
きつうまへてこやうちやうちつるこうそあそへ給ふの
くてつひうりやしめうてあそひやさ給そきつう
給ふるうちびんうしの中ふくてえ給いるうの中
よりとうう給ぬうへの中ふいのうゆこの中うよまう
けられうるうこうの中りのうもとうよつうてこや
うちこ雨よのうちこうつきこうまつこそてうこ女ふうこそい
袖の中袖ら中袖よいはの中袖ふいはの中ふ
袖ふいはの中ふよいはの中袖ふいはの中袖ふ

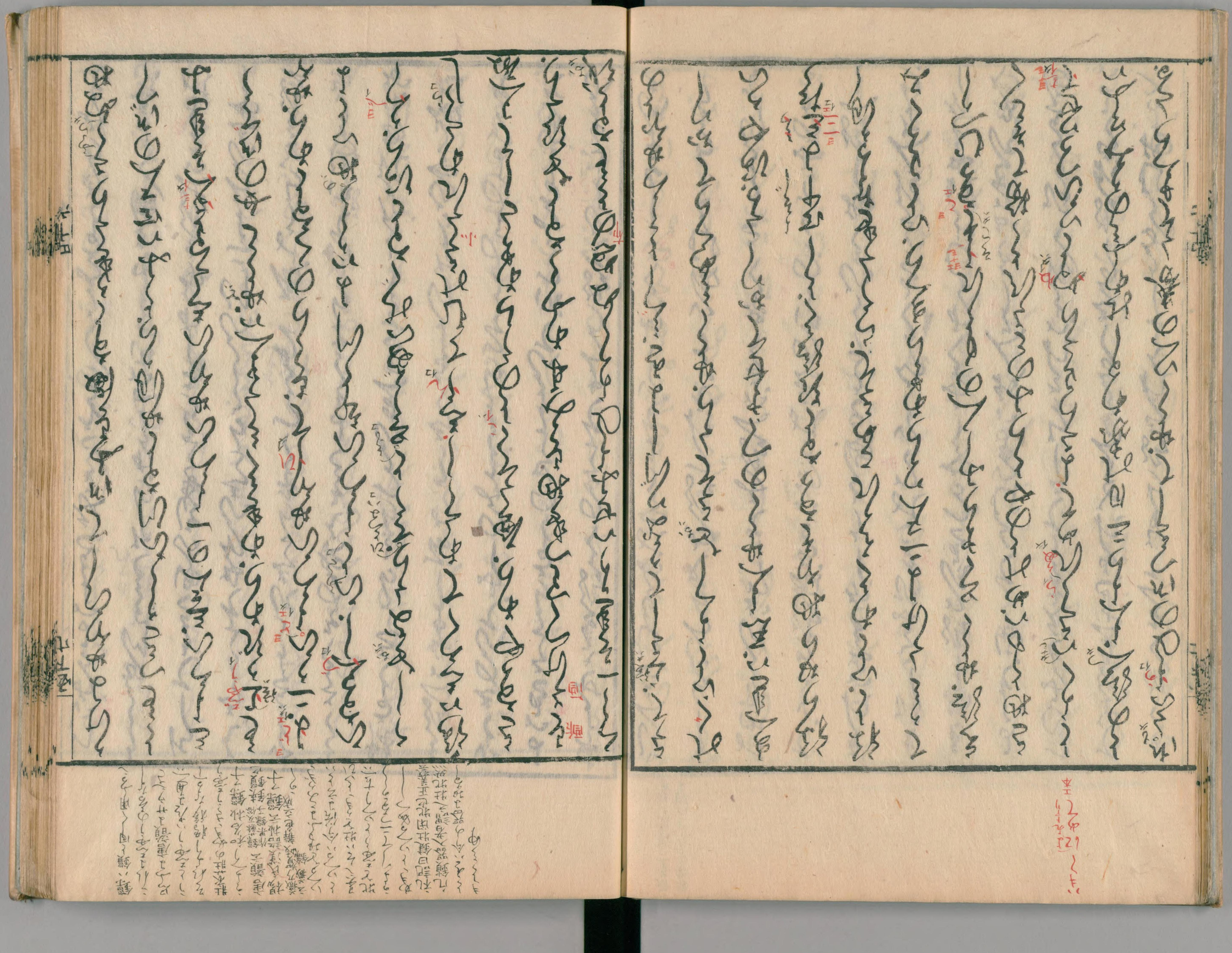
ふとうの雨給ふくてみおうう給ぬうへの中ふくれ
みゆりてよ中ふくそひくれともものへつるすそ
こうりうつふ袖ふつふいそのの女ふどうみよ袖袖
ううふ給ふうもうの中ふ魚の中ふのうゆよりとう
つと給ぬえうびいうふあふ中給ふ
みふいうふうてうふ中給ふ袖ふいはの中給ふ
給ふうさめうよいえあふうまつ中ふ袖の中給ふ
袖給ふうまぬそいへつうふうふうの中給ふ
中給ふいもうふ給ふいもうふ給ふ中給ふ
うふ給ふいもうふ給ふうるけるとふうふうめ
給ふ中のうれいふうくすそうふうそ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

めさんいさ〜にてをとこ
ゆ〜しく阿(あれ)表ゆ〜しくのものまこひきて〜ゆれ
みをとこ門きく聞をれをを表〜〜〜〜〜〜〜〜
りにくくて物の給をを、えをさてをらつゆ〜聞れ
いまあやうりをさ〜ひの仲(なかなか)の家の初ん〜〜に
ひ〜ひ〜ひ〜

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用



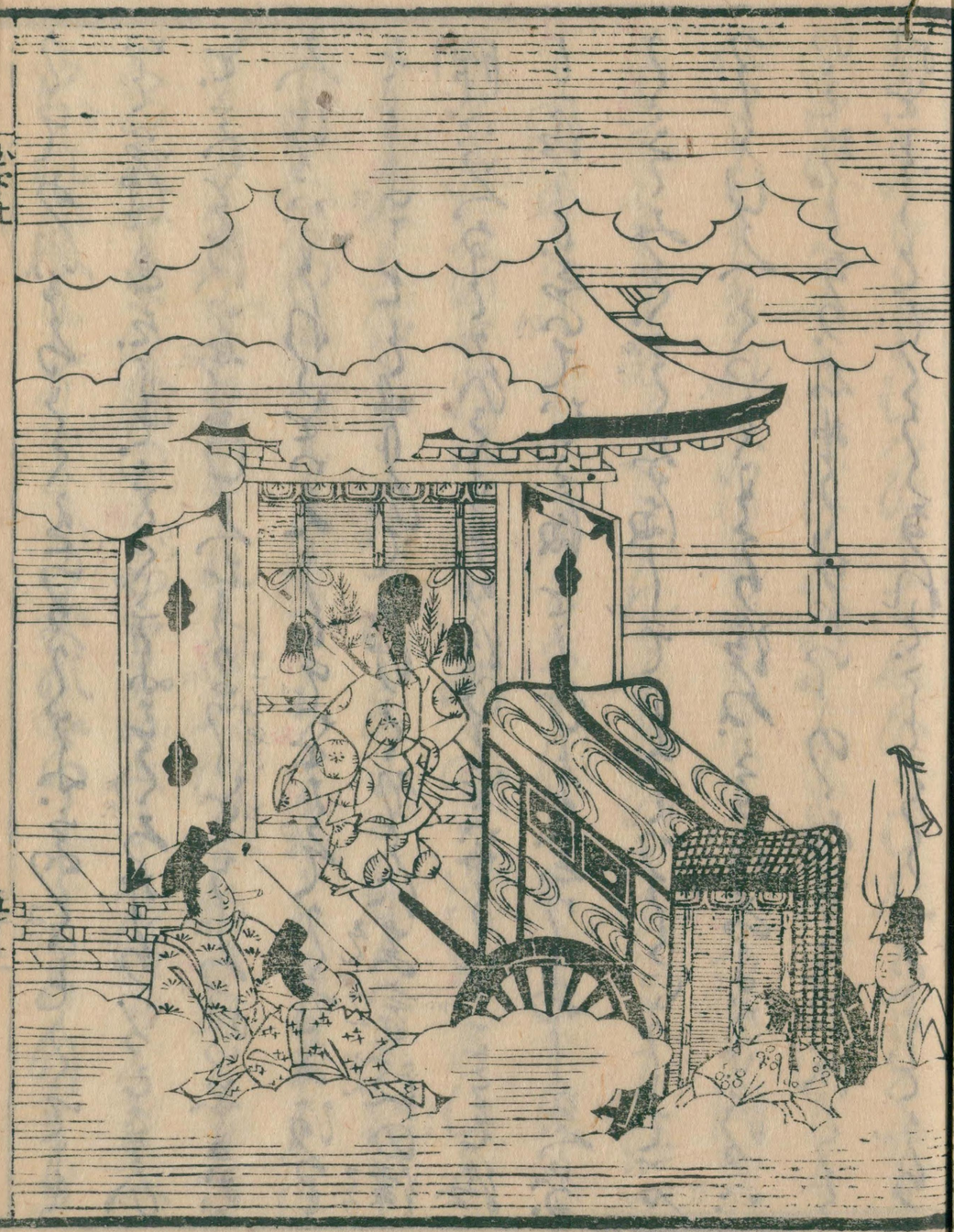
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用



みそこしのえてつのめさうしそやおもしろかりしかとも
してゆきすぎこうらいの三ぎやうあるうてこれを
うつ乗つけくやくいろ〳〵あるとくさ
ぜをはりうつくしのへうつ是をうしとうこと
のそこいをさしもるとをるゆをうさてがどく
のゆりうける

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

の後いたはるまうしうるむこうるの後よりうせまり
て後いかうことひろちりあへうるれいそこよりれ物
なまゐりはそひとろ人をうてこそ
一行とも後ふ物とうとうりうしくうこうりうしうてよ
うあこうもはうむ物をたれいとめやとてらうはる
人をこそ物しなられとうくあへうみるみる物をて後
はうくあるいとる物しもの後うてはとめうりてこ後
てひうしいうこうよりれのくとあしうらどつうて
をうこうのをあいうひうくいて人すみ。れいうう
くようれをれうりうはうよ後よりあるみ物やこ後
ひうちるうて

修理

れうもむうのひういうあのとうりとうもとて
みうこうをうあるうよの後ぐ。ふれるうれをて
うしをこうをりりをうくうれ書うう後
のるりうるれどや後へあるうのうるやうの後
てうこうりをくるこうるうのは後うう後一あ原
うてみれうに物こうをうう一あのうみうるうり
ううくくのううはるあんとうくはうりうは
物せうううくんをるくうこうてて。海りうりはれいて
うこを表うりつまひううを表りやとを物うりに人をれ
をうをあうりつまこそこを後りに人とも せんは後うあ
て芳まるうりそをこうりうるうこうみうをつまうるうこと な

修理

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

しつらひ世話てい車十二ちやうもんあるうしとりはなを
くるまにぬりてれいもうよの方ぬぐ
ぬ人のうちはつるたちのれもうよまゐりえ
ひとりやもとるかとさあてすのいはくるまよりそこ
みをうちれきるーりんをてうるるうをそ
いくまつぐるむあいさうよ人のたいせうとるよつ
追従
きてこそやむしこれりくとる紙はうませ人のこ和
こうめたこーめを而と行とさてくういたはくく
ひさうまてまうり給さうれ給てゆとれまうんえ
面目
ゆりくあまこ海てまんうそむこめうしみをあり
うんそまようるのいくぬやつくうをうむをうれ事
勘

こそいとやうくうんをれいうれ給とうあるれうり
しそ給て海つり給てはつわ給よはたくそうく発
して文ようてめうるうりてそうり給つてあまう
給抽給ん文いはうくそ海うそ海うをうをれの
立給いてめつくーうこそこうあいせうりうる
ゆゆとはうくーとまりてい給つ行をまは分をを
てこうり給つまいうこうを海みをを海いうをうを
こうまいこのめれうくい海うそ事とて行まいうくむ
とくて給まいはうさうよ下人一人も行給はいうるまあう
こそて海うそうせ事とて文ようりうせ給そいとあ
つをうれうる海そあつうよ海れ人よてそいむをくるう

侍ミナり

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

830
107

補刻　文化二年丙寅春三月吉旦

書林　大坂本町四丁目　葛城豊英堂　奈良屋長兵衛板

（カクノ如キ本モアリ此本ハ書肆ノ名ヲ欠リ元九八ノ当時秋田屋ノ蔵板ニテ）

延寶五丁巳年

初春吉辰開板

三都　江戸日本橋通南壹丁目　須原屋茂兵衛
同浅艸茅町二丁目　須原屋伊八
同日本橋通二丁目　山城屋佐兵衛
同芝神明前　岡田屋嘉七
同日本橋通二丁目　小林新兵衛
同本石町十軒店　英大助
同中橋廣小路　西宮弥兵衛
同日本橋通四丁目　金花堂佐助
京都寺町通松原下ル　勝村治右衛門
大阪心齋橋通北二丁目　秋田屋太右衛門

発行

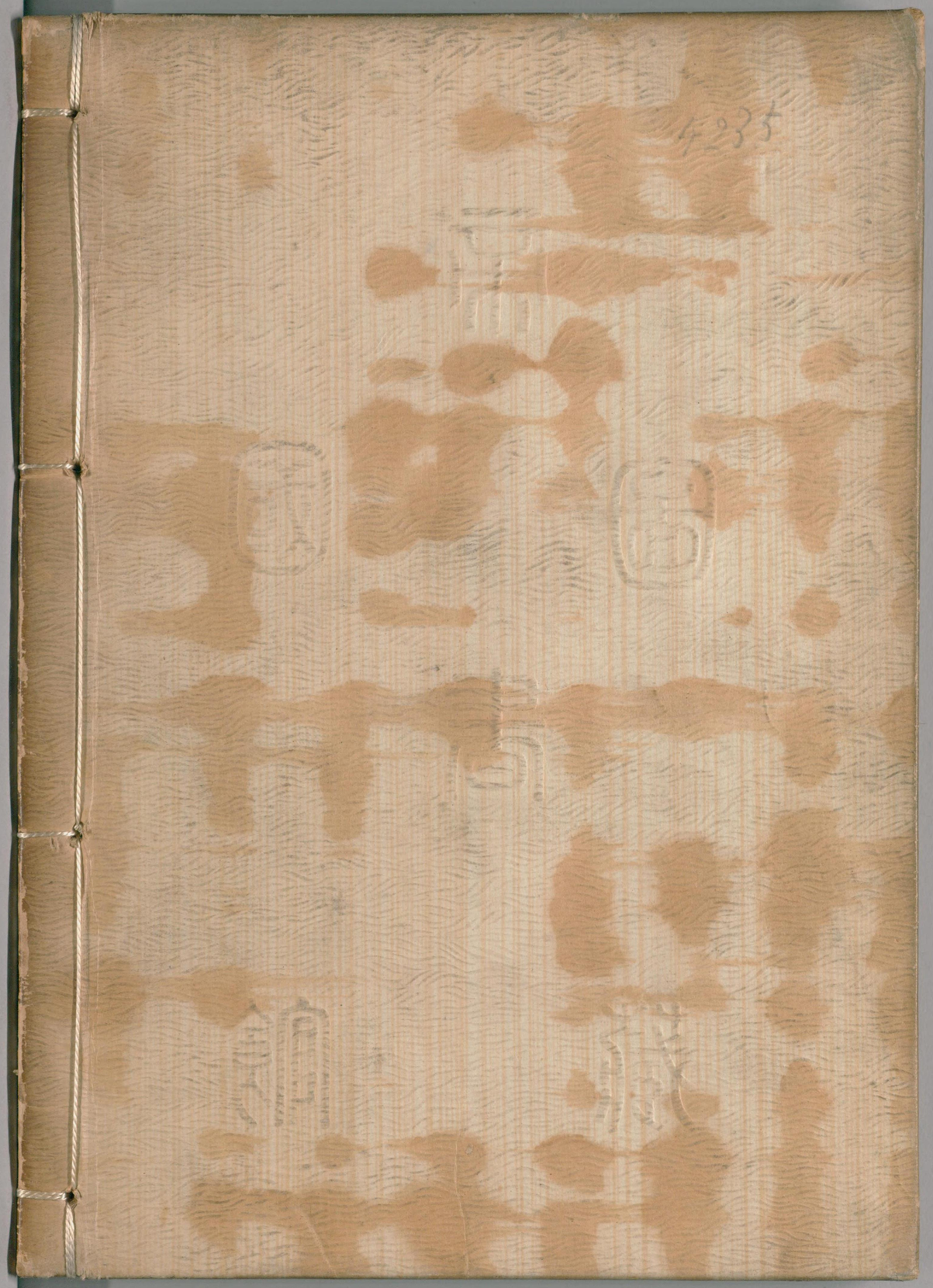
書林

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用